白糸の滝と周辺 見所MAP

Shiraito Falls Area & Sightseeing Guide

1 白糸の滝

白糸の滝は幅約150メートル、落差約20メートルあり、滝の幅は日本最大です。白糸の滝は溶岩層の隙間から湧水が流れ落ちるもので、富士山の湧水の構造が分かります。

2 音止の滝

兄弟が討ち入りの機会をうかがう折、お互いの声が滝の音で打ち消されて困りました。「大事な相談をしているのに心なしの滝だ」とつぶやくと、不思議にも滝の音がピタリと止み、話が済むと滝は再びごうごうと鳴り響いたといいます。この伝承から「音止の滝」といわれるようになったそうです。滝の高さは25mあります。

3 曾我兄弟の隠岩

曾我兄弟はこの岩に隠れて討ち入りの密談をしたと伝えられています。音止の滝の東側にあり、しめ縄が張られるなど、伝説の岩らしい雰囲気が漂っています。

4 工藤祐経の墓

墓域あたりが工藤祐経の陣所で、曾我兄弟に討たれた場所だと言われています。祠の中の碑文には、文化13年（1816）8月と刻まれています。明治時代の写真では祠は無く、石碑と土饅頭だけでした。

5 三椏(みつまた)栽培記念碑

天明元年（1781）原村の渡辺兵左衛門が富士山の御林で三椏を発見したといわれます。江戸時代中期から上質の和紙が盛んに造られるようになり、明治時代には紙幣用紙として使われました。碑は大蔵省印刷局の後援で建てられました。

6 おびん(鬢)水

巻狩りの折、頼朝がこの水で鬢のほつれを直したと言われます。白糸の滝にある、すぐ上のほら穴状になった所で、富士講の開祖長谷川角行が水垢離を取った所ともいわれています。

7 熊野神社

熊野三社（本宮　熊野坐神社＜本地仏阿弥陀＞・新宮　熊野速玉神社＜本地仏薬師＞・那智社　熊野夫須美神社＜本地仏観音＞）は早くから修験道の山として開かれ、先達や御師・熊野比丘尼の活躍により隆盛を極めました。近世には「蟻の熊野詣で」といわれるほど民衆の信仰を得て、各地に熊野神社が創られました。

8 芝山浅間神社

昭和17年、陸軍少年戦車兵学校が上井出に開校し、演習地となった人穴地区から芝山地区への強制疎開が行われました。人穴浅間神社も、享保年間建立の石灯籠等と共に遷されました。

9 上井出天満宮

境内に富士山を模したという日本一高い土俵があります。秋祭りには子どもたちの奉納相撲が行われます。

10 上井出スポーツ公園

休憩（トイレがあります）

11 上井出橋(北山用水埋樋)

上井出橋の下流側で、北山用水と潤井川が交差しています。昔は北山用水を渡す樋が、潤井川が氾濫しても流されないよう埋樋にしていました。現在は橋の下流側右岸（西側）で河床の下に潜り、左岸（東側）に出ています。

12 曾我八幡宮

社伝によると、頼朝が曾我兄弟の孝心に感じ、兄弟の英魂を祀るため、建久8年(1197)に畠山重忠に造立させたとあります。祭神は応神天皇で、兄弟は相殿(そうでん)として祀られています。

13 曾我兄弟霊地(墓)

兄弟没後、2匹の狐が現在の霊地から、対面している八幡宮をしばしば遙拝している姿に、地元の人が感するところがあり兄弟の墓を建てたと碑文にあります。

14 狩宿の下馬桜　井出家高麗門と長屋

■**下馬桜**（国指定特別天然記念物）
巻狩りの折、頼朝が宿舎にしたと伝えられる井出家の前にあります。別名、頼朝が駒を繋いだ「駒止めの桜」とも言われます。

■**井出家高麗門と長屋**（市指定文化財）
井出家は鎌倉時代以降、国人土豪としてこの地に在り、今に至っています。
高麗門は井出家の歴史的存在を誇示するものと言えます。長屋は江戸時代の建物で、豪農の象徴であり、古くからの建築様式を継承しています。